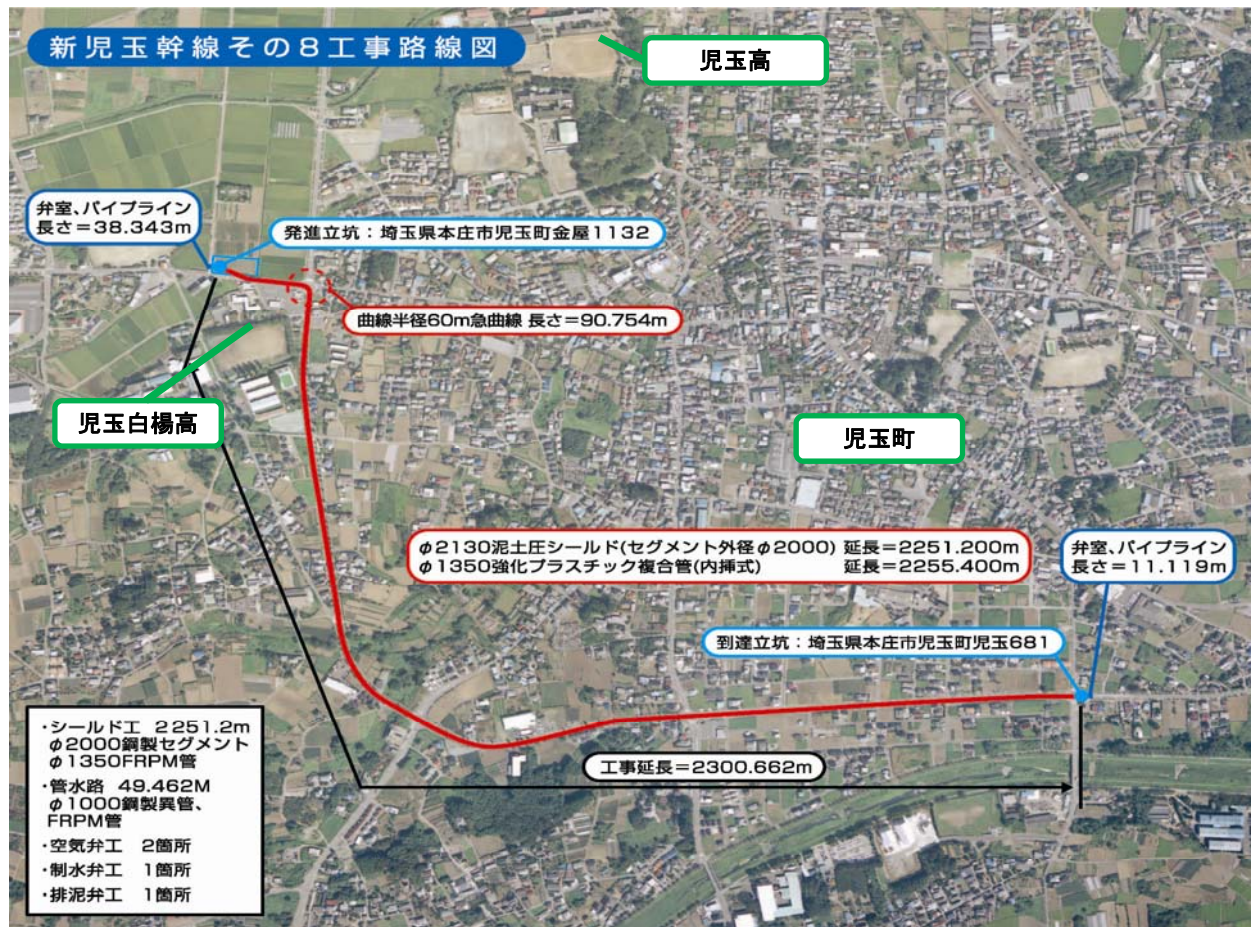


シールド工事完成報告

平成23年1月末、埼玉県本庄市児玉町において施工を行っている、新児玉幹線水路シールド工事が完成しました。

○概要

シールド工事は神流川沿岸農業水利事業所の主要工事である新児玉幹線その8建設工事にて行われ、県道下区間(最深約22m)を延長2.3kmにわたり、外形2,130mmの泥土圧シールド工法にて施工する工事です。



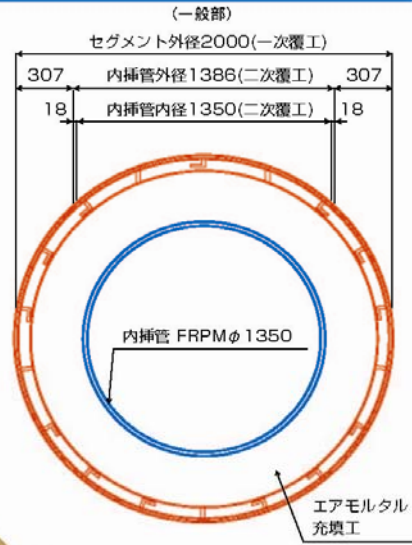
新児玉幹線その8工事路線図

シールド機



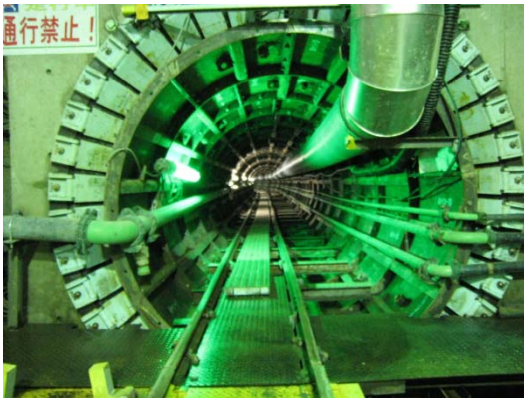
上 シールド機
右 シールドトンネル標準施工図

シールドトンネル標準施工図



○シールド機について

シールド機本体の長さは4,885mm、内部にシールドジャッキが8本あり、本掘進における掘進速度は1.8~2.4m/hであり、砂礫層及び泥岩、凝灰岩等地盤の変化に対応した工法です。



トンネル

○シールド工事完成式

平成23年2月2日、同工事の完成を祝うため、シールド工事完成式典が行われました。式典では神流川沿岸地域国営事業等促進協議会会長をはじめ、埼玉北部土地改良区連合理事長、美児沢用水土地改良区理事長、県・地元自治会長等約70名が参加し行われました。

式典では、促進協議会会長から「埼玉北部の豊かな地域造りには、産業誘致と農業の振興の共存が重要であり、早期の完成により更なる発展に寄与するものと確信する。事業が着実に推進されており、誠に有難う御座います。」。埼玉北部土地改良区連合理事長からは「近年施設園芸等益々水の重要性は高まっており、水路の改修・2連化により安定供給が万全なものになった。連合としても管理を一層的確に行い、畑かんを含む営農の一層の振興に貢献したい。」。新規畑かん地区理事長からは、「世界的な水不足や騰貴マネー等で農産物価格が高騰するなか、安定的に水が供給されることに国・県に対して感謝する。」という趣旨の祝辞が寄せられた。

式典の様子を現地テレビ局が取材をする等、事業の完了を平成24年度に控え、地元の方々にとって工事の進捗を再確認する好機会となりました。神流川沿岸農業水利事業所としても残工事の着実な実施に加え、小水力発電等の再生可能エネルギーを活用した六次産業化策を策定し、農村の活性化を強力に支援していくこととしています。



完成式典の様子